

企業関係者と弁理士の知財研究会

第9回（2019年度－5）・実施報告書

令和2年2月22日

保科敏夫・鈴木一徳

令和2年1月23日（木）に行われた、企業関係者と弁理士の知財研究会・第8回について、実施報告をいたします。

実施したクラス

当初の予定どおり、午後3時半～5時のクラスと午後5時半～7時のクラスの2クラスを実施した。内容は同じである。

参加人数

司会・進行の保科及び鈴木を除き、3時半クラス6名、5時半クラス5名。

参加者の内訳

① 3時半クラス

企業関係者4名（企業内弁理士1名、弁理士以外2名）、特許事務所2名
神奈川委員会委員2名、委員以外4名

② 5時半クラス

企業関係者4名（企業内弁理士2名、弁理士以外2名）、特許事務所0名、その他1名
神奈川委員会委員1名、委員以外4名

テーマ

パラメータ発明・数値限定発明②

内容

パラメータ発明・数値限定発明についての論文3本を取り上げ、パラメータ発明・数値限定発明の基本及び権利範囲等についてディスカッションを行った。

前回（第8回）の論文3本と合わせて6本の論文をもとにディスカッションを行ったため、この分野についてのほとんどの論点を扱うことができた。

今後の予定

第10回（2019年度－6）令和2年3月26日（木）現在の社会情勢に鑑み、中止いたします。3月のテーマを5月に、5月のテーマを7月に、順次繰り下げます。

第11回（2020年度－1）令和2年5月21日（木）*第3木曜日 テーマは、特許権の共有及び特許権の消尽

第12回（2020年度－2）令和2年7月30日（木）*第5木曜日 テーマは、「製造業者のノウハウ・知的財産権を対象とした優越的地位の濫用行為等に関する実態調査報告書」（公正取引委員会）を、企業関係者・弁理士・弁護士がそれぞれの視点で読む

以上